

代替わりを機に天皇制を考える連続企画

第1回

天皇代替わり 何が問題？

二〇一六年、明仁天皇が発した生前退位をにじませる「お言葉」によって、来年四月三〇日には代替わり行事が準備されています。しかし、この「お言葉」自体が憲法に抵触する政治的な発言であることに気づいていますか？
現天皇に対しては、皇后と共に各地で慰霊・慰問の旅を重ねてきたことから、「護憲派」、「平和主義者」、「国民」のために「祈り」と「癒し」に努めている——などという印象を持っている人も多く、天皇制が社会や私たちの意識に様々な影響を与えていることへの認識と危機感は薄らいでいるのではないのでしょうか。
私たちは、「代替わりを機に天皇制を考えるあいちネットワーク」を、人権、平和、民主主義、多様性尊重、信教・良心の自由、政治的社会的文化的マイノリティの権利尊重など、共通する価値観と問題意識を持つ団体・個人で結成し、象徴天皇制がはらむ問題——国家主義、軍事主義、家父長制、国家神道——を問い、改めて考えます。

日時

2018年12月23日(日)

午後1時開場

午後1時30分開始(午後4時30分終了予定)

場所

ウィルあいち 1階セミナールーム1,2



- 地下鉄「市役所」駅 2番出口より東へ徒歩約10分
- 名鉄瀬戸線「東大手」駅 南へ徒歩約8分
- 市バス幹名駅1「市政資料館南」下車 北へ徒歩約5分

参加費 800円

主催 代替わりを機に天皇制を考える
あいちネットワーク
連絡先:090-6468-5556

講師
森英樹



名古屋大学名誉教授 憲法学
名古屋大学名誉教授。専門は憲法。名古屋大学大学院法学研究科教授及び理事・副総長、全国憲法研究会代表、民主主義科学者協会法律部会副理事長、日本学術会議会員等を歴任。